



まちの駅連絡協議会の概要 - 平成 17 年度 年次報告 -

2006年3月 まちの駅連絡協議会事務局 作成

1. 設立の趣旨

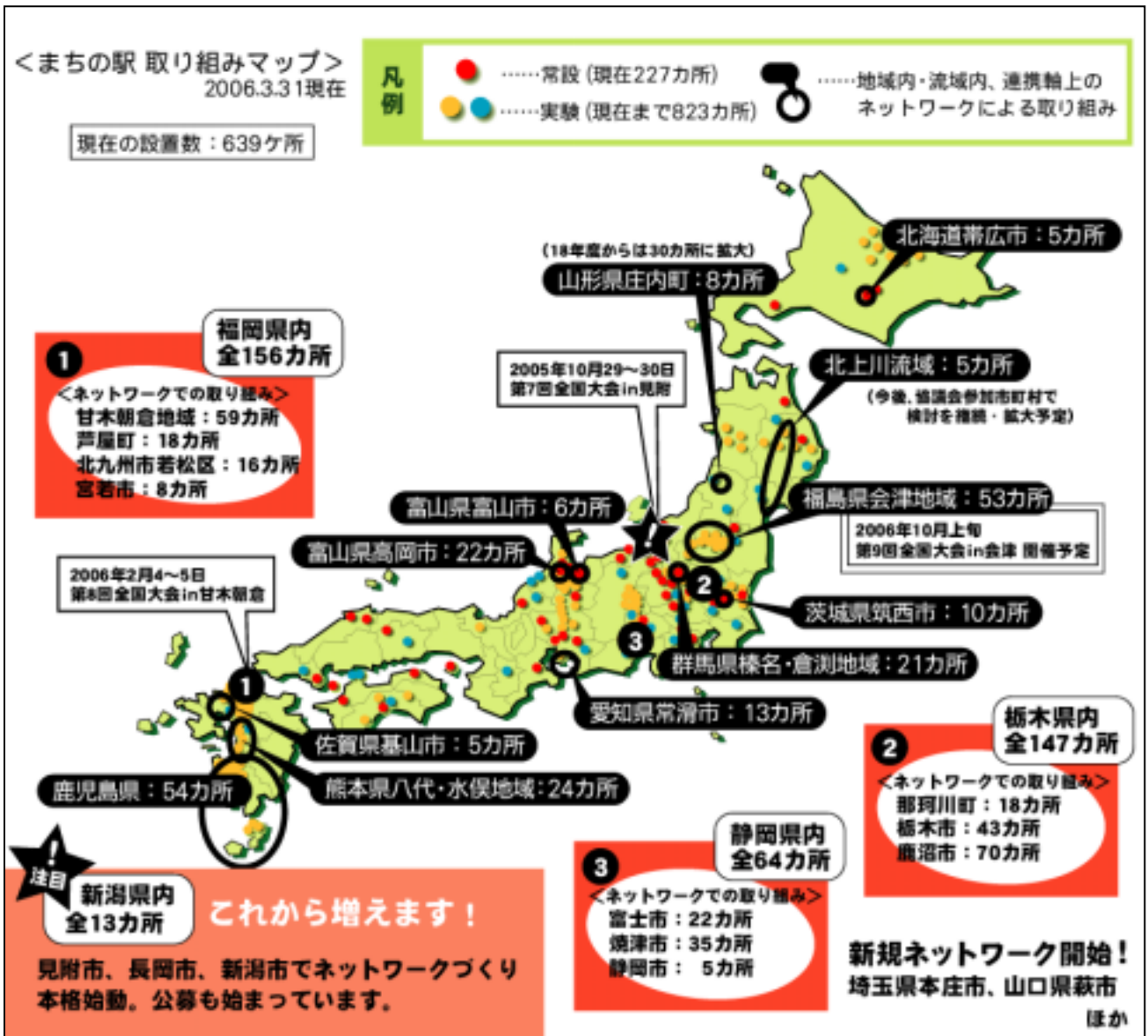
まちの駅は、市町村の行政域を越えた連携を目指して、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する拠点です。また、まちづくりの拠点となり、他のまちとも連携する拠点としての役割も担うものです。

このまちの駅の考え方が、市町村だけでなく、民間企業や住民活動団体、NPO 団体などからも、自分たちのまちを活性化するキーワードとして注目されてきました。

「まちの駅連絡協議会」は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体などが、まちの駅の設置を通して、地域やセクターを越えた交流連携活動を行い、ゆたかなまちづくり、くにづくりのためのネットワークをつくることを目的としています。

2. 参加状況

数年前から、さまざまな地域において、複数市町村が（市町村境や県境を越えて）共同で社会実験を行ってきています。常設されているまちの駅（227ヶ所）を合わせ、2006年3月現在で約650の市町村・団体がまちの駅に取り組んでいます。昨年度より、一自治体・地域内に複数のまちの駅を設置・ネットワークさせる取り組みが急激に増えてきています。



3.活動内容（まちの駅連絡協議会会則 第4条より）

1.の趣旨に従い、まちの駅の情報の共同発信、まちの駅どうしの交流連携・ネットワーク推進に係わる諸事業（印刷物の共同作成、各種イベント・シンポジウム、特産品の紹介・斡旋、人材研修等）企画、運営、調整等を行っております。

4.運営資金

運営資金は、主に 参加市町村・団体等の年会費、フォーラム開催費、印刷物販売、コンサル収入、その他（補填分等）でまかないます。平成17年10月29日の総会において、年会費制度が一部変更になりました。

<平成18年度からの新・会費制度>

年会費		新規認定料
個人会員	10,000円 (2カ所まで設置可能)	認定料 2,000円 (新規設置1カ所につき)
団体会員	60,000円 (3~20カ所) 100,000円 (21~50カ所)	
市町村会員	60,000円 (1~20カ所) 100,000円 (21~50カ所)	
51カ所以上の場合、1カ所につき2,000円		

5.これまでの経緯

<平成10年度：のべ4地域45市町村で社会実験>

01...平成10年3月21~29日：長野～山梨～静岡県の10市町村にて予備実験
地域連携推進に向けた、市町村ネットワーク形成のための拠点づくりの実験開始

02...平成10年10月24日～11月23日：秋田～岩手県の9市町村にて社会実験

03...平成10年11月2日～12月31日：長野～山梨～静岡県の18市町村にて社会実験

04...平成11年1月29日「連携センター(現：まちの駅)」名称確定フォーラム

05...平成11年2月22日～3月8日：福岡県の筑後・八女地域8市町村にて社会実験

<平成11年度：2地域23市町村で社会実験>

06...平成11年5月15日「まちの駅」：シンボルマーク最終選考会(第4回首長交流会にて)

07...平成11年7月25日～10月11日：秋田～岩手県の9市町村にて社会実験

08...平成11年9月4日～11月30日：長野～山梨県の14市町村にて社会実験

<平成12年度：5地域45市町村で社会実験 / 「まちの駅連絡協議会」発足 / 取り組み合計約80駅>

09...平成12年4月24日：「まちの駅連絡協議会」正式発足のための準備会
日比谷 星陵会館にて、まちの駅に取り組む団体を中心に開催(約100名参加)

10...平成12年7月19日：まちの駅研究会
KOTOBUKI D.I.センターにて、全国首長連携交流会の担当者を中心に開催(約30名参加)

11...平成12年8月20～27日：新潟～群馬県の7市町村にて社会実験
まちの駅標準情報の提供の検討

12...平成12年8月31日：「まちの駅連絡協議会」正式発足会&フォーラム
日本経済新聞社にて、まちの駅によるセクターを越えた連絡組織が発足(約120名参加)

13...平成12年9月8日～平成13年3月15日：長野～山梨県の13市町村にて社会実験

14...平成12年10月7～29日：茨城～栃木県の10市町村にて社会実験

15...平成12年10月14～20日：北海道紋別地域の9市町村にて社会実験

16...平成12年10月31日：「まちの駅」ホームページ開設

17...平成12年12月31日：インターネット博覧会「まちの駅」パビリオン開設(1年間)

18...平成13年2月20日～28日：石川～富山～岐阜県の15市町村にて社会実験

<平成13年度：5地域84ヶ所で社会実験 / 取り組み合計約180駅>

19...平成13年8月1日～10月31日：新潟～群馬県の11ヶ所にて社会実験
子どもの体験学習を通じた「まちの駅」ツアーの検討

20...平成13年8月31日：「まちの駅」全国フォーラム
日本経済新聞社にて、まちの駅設営者(予定含む)を中心に開催(約130名参加)

21...平成13年9月1日～10月31日：石川～富山～岐阜県の24ヶ所にて社会実験
統一規格パンフレット・地図の共同作成・設置

22...平成13年10月16日～22日：北海道紋別地域の7ヶ所にて社会実験

23...平成13年11月17日～12月9日：茨城～栃木～群馬県の21ヶ所で社会実験

民間版テーマタイプのまちの駅ネットワークの強化

- 24...平成 13 年 11 月 1 日～平成 14 年 2 月 28 日：福岡県の甘木朝倉地域 21 ケ所にて社会実験
- 25...平成 14 年 1 月 1 日：まちの駅公式サイト「まちの駅どっと混む」開設
- 26...平成 14 年 3 月 23 日：「まちの駅」全国フォーラム in 櫛形 (山梨県)
櫛形町中央公民館にて、まちの駅設置者・まちづくり関係者を中心に開催 (約 130 名参加)
- <平成 14 年度：6 地域 121 ケ所で社会実験・連携推進 / 取り組み合計約 250 駅>
- 27...平成 14 年 7 月 3 日：「まちの駅連絡協議会」総会・勉強会
KOTOBUKI D.I.センターにて、まちの駅設置者を中心に開催 (約 90 名参加)
- 28...平成 14 年 8 月 31 日：まちの駅メールマガジン 創刊 (月一回発行)
- 29...平成 14 年 9 月 13 日～：甘木・朝倉地域の 45 ケ所にて連携推進(リニューアルオープン)
- 30...平成 14 年 10 月 1 日～11 月 30 日：北陸地域の 11 ケ所にて社会実験(連携強化期間)
- 31...平成 14 年 10 月下旬～12 月下旬：関越地域の 11 ケ所にて連携推進
- 32...平成 14 年 11 月 1 日～22 日：福岡地域の 7 市町村にて社会実験
- 33...平成 14 年 1 月 15 日～2 月 28 日：北関東地域の 41 ケ所にて連携推進
- 34...平成 14 年 2 月 8 日～21 日：飛騨・高山地域の 6 ケ所にて社会実験
- <平成 15 年度：10 地域 185 ケ所で社会実験・連携推進 / 取り組み合計約 320 駅>
- 35...平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日：関越地域の 13 ケ所にて連携推進
- 36... " 富山県内の 9 ケ所にて連携推進
- 37... " 北関東地域の 45 ケ所にて連携推進
- 38...平成 15 年 7 月 17 日～：甘木・朝倉地域(福岡県)の 50 ケ所にて連携推進
- 39...平成 15 年 8 月 2 日～31 日：隠岐・対馬・種子島の 3 島 7 ケ所で社会実験
- 40...平成 15 年 8 月 22 日：第 4 回「まちの駅連絡協議会」総会&フォーラム 2003
まちの駅ぽっぽ町田(東京都町田市)にて、まちの駅設置者を中心に開催 (約 150 名参加)
- 41...平成 15 年夏～秋：那珂川流域(茨城・栃木)の 8 ケ所にて連携推進
- 42...平成 15 年秋～平成 16 年 3 月 31 日：有明沿岸地域(福岡・熊本)の 18 ケ所にて連携推進
- 43...平成 15 年 10 月 25 日～11 月 30 日：鹿児島県内の 8 ケ所にて社会実験
- 44...平成 16 年 2 月 13 日：第 5 回「まちの駅連絡協議会」フォーラム in 長岡
ながおか市民センター(新潟県長岡市)にて、まちの駅設置者を中心に開催 (約 200 名参加)
- 45...平成 16 年 2 月 25 日～3 月 9 日：福岡県内の 21 ケ所にて社会実験
- 46...平成 16 年 3 月 13 日～4 月 11 日：飛騨地域の 6 ケ所にて社会実験
- <平成 16 年度：11 地域 234 ケ所で社会実験・連携推進 / 取り組み合計約 400 駅>
- 47...平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日：関越地域の 15 ケ所にて連携推進
- 48... " 富山県内の 6 ケ所にて連携推進
- 49... " 北関東地域の 45 ケ所にて連携推進
- 50...平成 16 年 7 月 14～16 日：駅まちづくりフェア 2004(at ビッグサイト)参加
- 51...平成 16 年 10 月 1 日～11 月 13 日：会津地域の 21 ケ所にて社会実験
- 52...平成 16 年 10 月 9～10 日：第 6 回「全国まちの駅 総会・勉強会」
宇都宮大学・宇都宮市内にて、1 泊 2 日の研修を兼ねて開催 (約 120 名参加)
- 53...平成 16 年 10 月 23 日～平成 17 年 1 月 31 日：鹿児島県内 42 ケ所にて社会実験
- 54...平成 16 年 10 月 23 日～平成 17 年 1 月 31 日：水俣・八代(熊本県) 14 ケ所にて社会実験
- 55...平成 16 年 11 月 11 日～12 月 24 日：緊急企画「心のくつした便」募集・実施
口コミとインターネットで 1000 足のくつ下とメッセージがながおか市民センターに届いた
- 56...平成 16 年 11 月 14 日～：馬頭町(栃木県)18 ケ所にて社会実験
- 57...平成 16 年 11 月 25 日～：甘木・朝倉地域(福岡県)の 54 ケ所にて連携推進
- 58...平成 16 年 12 月 4 日～平成 17 年 1 月 30 日：静岡県富士市 4 ケ所にて社会実験
- 59...平成 16 年 12 月 5 日～：北上川流域連携協議会の 5 ケ所にて社会実験
- 60...平成 17 年 2 月 15 日～：茨城県下館市の 10 ケ所にて社会実験

6.平成 17 年度の取り組み

ネットワーク推進・社会実験

今まで自治体や商工・観光関連団体を中心となって進めていたネットワークは、市町村を越えた連携や、道路沿線・河川流域といった比較的広域なものでした。

本年度からは、住民活動団体・NPO 中心による、一地域内のネットワーク強化を目指す取組みが急激に増加しました。また、行政がバックアップする形で「まちの駅」を設置したい市民・施設を公募する地域も増えました。

< 17 年度の主なネットワーク・実験：19 地域 488 ケ所 >

栃木県那珂川町(18 ケ所) / 福島県会津地域(53 ケ所) / 富山県富山市内(6 カ所) / 群馬県榛名まちの駅プラネット(21 ケ所) / 福岡県甘木・朝倉地域(59 ケ所) / 静岡県富士市(22 ケ所) / 栃木県鹿沼市(70 ケ所) / 鹿児島県(54 ケ所) / 岩手県・宮城県北上川流域(5 ケ所) / 茨城県筑西市内(10 ケ所) / 愛知県常滑市(13 カ所) / 山形県庄内町(8 カ所) / 静岡県静岡市江尻・まちの駅(4 ケ所) / 栃木県栃木市内(43 ケ所) / 熊本県八代・水俣(24 ケ所) / 富山県高岡市(22 ケ所) / 佐賀県基山市内(5 ケ所) / 静岡県焼津市(35 ケ所) / 北九州市若松区(16 ケ所)

連携企画・イベント

地域内の駅どうしで協力して行うスタンプラリー、同じ駅名がきっかけとなり遠隔地の美術館が共同で行った企画展等、まちの駅の連携イベントは規模も形態も様々に、各地で無数に開催されています。その中でも、昨年 7 月に行われた「まちの駅連携物産展 “これぞ市場・ん”」は、栃木県、新潟県、福岡県のまちの駅関係者の企画・提案により、全国のまちの駅に参加を呼び掛け、東京都町田市「まちの駅ぽっぽ町田」を会場に盛大な連携イベントとなりました。

< まちの駅連携物産展「これぞ市場・ん in 町田」 >

日時 平成 17 年 7 月 2 日(土) 11:00~17:00(交流会 18:30~)
場所 まちの駅ぽっぽ町田(東京都町田市原町田 4-10-20) 正面広場
趣旨

- ・ まちの駅の繋がりで、2004 年 10 月の地震により甚大な被害を受けた新潟県中越地域の復興を応援する。中越地域からは「復興がんばっています&応援ありがとう」のメッセージを発信する。
- ・ 中越地域をひとつの教訓に、防災対策や被災時の対応を考える。
- ・ 物産展を通して、全国のまちの駅の PR をすると共に、駅どうしの物産交流を促進する。

主催：まちの駅ぽっぽ町田、まちの駅ネットワークとちぎ

共催：まちの駅おおひら、まちの駅連絡協議会、街かどライブ実行委員会

後援：町田市

協力：にろくの会、全国のまちの駅のみなさん、まちの駅ネットワークふくおか、東急ハンズ町田店、二十祭まちだ実行委員会



< 「福岡からいっぱい元気」展 >

「ぼとうまちの驛」に参加している「もうひとつの美術館」と、「あぎあさくらまちの駅」に参加している「共星の里」は、同じ「アート駅」という駅名。知的なハンディキャップを持つ人たちのアートを心に活動を行っている点、旧小学舎を活用している点が共通。まちの駅に参加したことがきっかけとなり、駅長さんの交流が始まり、コラボレーションによる企画が実現しました。



日時 平成 17 年 6 月 4 日~9 月 4 日

場所 アートの駅(もうひとつの美術館：栃木県那珂川町)

< 会津まちの駅スタンプラリー >

会津まちの駅 49 駅参加によるイベント。会津まちの駅マップにそれぞれの駅のスタンプを押してもらおう。パーフェクト賞 36 名を含み、20 ケ所以上をまわった方は 60 名。賞品は駅どうしの持ち寄り、お米やお酒など会津地域の特産品が出されました。



日時 平成 17 年 8 月 1 日~10 月 31 日

(商品贈呈日：11 月 13 日 温泉の駅にて)

全国大会

全国のまちの駅設置者・設置予定者が直接顔を合わせ、議論と交流を深める場として、本年度は2回の全国大会が開催されました。この大会は勉強会を兼ねており、まちの駅設置者・設置予定者だけでなく、まちづくりに関心のある方ならどなたでも参加できるようになっています。

第7回大会は、オープンして1年余りにもかかわらず、全国でもモデル性が高いと注目を集めている新潟県見附市のまちの駅「ネーブルみつけ」にて総会・勉強会を行いました。

第8回大会は、個人商店等の参加による地域内ネットワーク型の取組み先進地である甘木・朝倉地域にて開催。全国大会であるとともに、九州ブロックにおけるまちの駅の取組み拡充を目指す機会ともなりました。

<第7回 まちの駅全国大会 in 見附 ~まちづくりの“へそ”みつけた!!~>

日時 平成17年10月29日(土)~30日(日)

場所 ネーブルみつけ(交流・宿泊:海・海ハウス)

全国、新潟周辺から約130名の参加。ネーブルみつけの駅長さん4名(右写スタッフのみなさんが総動員でお出迎え。1日目は、各地の実践報告やまち講座、大会テーマであるまちづくりの大事な“へそ”についてのパネルディスカッションを開催。夜は全国から集まったメンバーが合宿所「海・海ハウス」で夜中まで交流。2日目は、3つのまちづくりのお悩み(官民協働、応援団力者、活動資金)について、分科会に別れて話しあいました。2日間の総括した後、希望者は市内視察へと向かいました。同日、役員会を開催し、まちの駅連絡協議会の今後、きまりごとの改訂にて確認しました。



<第8回 まちの駅全国大会 in 甘木朝倉 ~地域が元気になる『まちの駅』とは! チイキ!ゲンキ!マチノエキ!~>

日時 平成18年2月4日(土)~5日(日)

場所 ビーボート甘木、甘木市内

全国、九州から目標200名をはるかに超える350名の参加。大会テーマを分かりやすく「まちの駅が地域に与える効果とは」「地域を元気にするためにまちの駅は何をすべきか」という2つの問いに分け、基調講演、まちの駅立ち上げ方法から活用法まで参加者の立場に応じた5つの分科会、ちょっとだけシンポジウムを開催。最後は全国から集められた特産品選会が行われました。夜は地元のおかみさんたちの手づくり料理をかけた交流会、夜なべ談義と続きました。翌日の甘木朝倉・うきは地域の駅めぐりも、まちの駅のメッカとも言える地域のツアーということも多く参加者がありました。



第9回の全国大会は福島県会津若松市で開催!(平成18年10月初旬の2日間(土・日)を予定しています)

全国の取組み状況の変化によるまちの駅連絡協議会の今後について

今年5月、本協議会役員より、“「まちの駅」の中心組織である協議会が、設立の趣旨や規約に則った本来の役割を果たしておらず、財政基盤や事務局実働体制も充分でないため、「まちの駅」の認定・登録や、支援、情報発信といった業務に支障が出て来ているのではないか”というご指摘と協議会のあり方についてのご提言をいただきました。併せて、議論の場を早急に設けて欲しいという要望も受けました。そこで7月9日に「まちの駅とことん意見交換会」を開催し、今までの「まちの駅」と協議会の関係性を整理し、「まちの駅」の全国組織としての協議会の役割・今後のあり方・無理のない運営方法等を議論しました。

将来的に「まちの駅連絡協議会」が自律した組織になるための第一歩として、協議会の役割の明確化と収支の透明化を行うべきであるという結論に達しました。そこで、会費徴収・認定制度の見直しと改訂案作成を行い、今年度(平成17年10月29日)の役員会・総会で可決されました。平成18年度からは新制度のもとで、これまで以上に「まちの駅」に取組むみなさんの情報交換、交流・連携の促進につながる活動を行っていく所存です。

名誉会長

石川 豊 (山梨県南アルプス市長)

会長

久住 時男 (新潟県見附市長)

副会長

石田 芳弘 (愛知県犬山市長)

井出 隆雄 (ジャーナリスト, NPO 地域交流センター 副代表理事)

役員(幹事)

北海道

太田 昇 (帯広 NPO28 サロン 専務理事)

奥山 壽雄 (NPO ネット・プロジェクト・オホーツク・クラスター 理事長)

東北

稲生 孝之 (全会津商工会連合会青年部会長, 会津地域まちの駅連絡会会長)

関東甲信越

森 民夫 (新潟県長岡市長)

吉田 恵子 (まちの駅ネットワークとちぎ 代表世話人)

東海北陸

伏江 努 (株式会社まちの駅たかおか代表, 富山まちの駅施設連絡会会長)

池田 安隆 (池田屋安兵衛商店代表取締役, NPO 富山観光創造会議まちの駅部会長)

中国四国

石原 真一 (島根県東出雲町長)

吉村 文次 (高知 NPO 理事長)

九州

上野 春樹 (甘木朝倉広域観光協会 常務理事, あまぎあさくらまちの駅実行委員会)

手嶋 隆行 (まちの駅ネットワークふくおか 代表世話人)

河井 達志 (まちの駅うすき代表, 鹿児島まちの駅促進委員会副会長)

下津 公一郎 (NPO さつま 常務理事)

専門家等

石川 治江 (NPO 法人 ケア・センターやわらぎ 代表理事)

大倉 久直 (茨城県立中央病院 院長)

小笠原 保子 (TBS アナウンサー)

三浦 昇 (大阪テレビ 東京支社 理事)

横島 庄治 (高崎経済大学教授)

高橋 志保彦 (神奈川大学教授、日本トイレ協会 副会長)

相談役

糠谷 真平 (国民生活センター 理事長)

田村 明 (法政大学名誉教授、まちづくり学会 会長)

事務局

事務局長

田中 栄治 (特定非営利活動法人 地域交流センター 代表理事)

まちの駅連絡協議会 事務局

特定非営利活動法人 地域交流センター内 (事務局担当: 遠藤あおい、橋本正法)

所在地 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-5 TKK 西新橋ビル 3 階 TEL 03-3581-2700 FAX 03-3593-1374

公式ホームページ <http://machinoeki.com> 代表メール E-mail: oshiete@machinoeki.com

伝えたいこと、山ほどあります。



まちの駅に関する情報は、まちの駅のホームページで!!

<http://machinoeki.com>